

シニア世代の生きがいづくり

～地元デビュー！「はじめの一歩」まずはここから～

平成22年2月

例月政策会議 生きがい班

1 高齢者を取り巻く現状 ～超・高齢化社会に向けて～

【総人口に占める高齢者人口(65歳以上)と高齢化率】

		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
全国	総人口(人)	127,768	127,770	127,771	127,692
	65歳以上(人)	25,761	26,604	27,464	28,216
	高齢化率(%)	20.2	20.8	21.5	22.1
三条		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	総人口(千人)	107,805	107,196	106,392	105,788
	65歳以上(千人)	24,579	25,081	25,441	25,935
	高齢化率(%)	22.8	23.4	23.9	24.5

市民の
1/4が高
齢者

★ポイント★

- 全国・三条市共に総人口の減少に対して、65歳以上人口が増加
- 平成20年度における三条市の高齢化率は、全国の平均より2.4ポイント高い

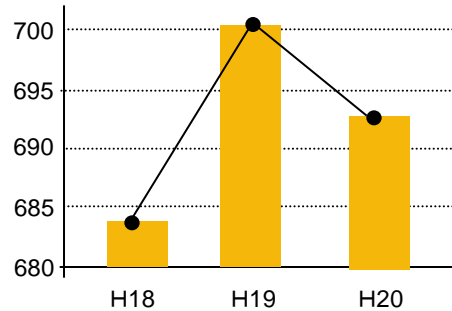
高
齢
化
社
会
の
到
来

2 高齢者を取り巻く現状 ～社会保障費の増加～

【老人医療費の推移】

一人当たり 老人医療費	平成18年度	平成19年度	平成20年度
全国	830,384円	866,911円	853,391円
新潟県	694,919円	722,506円	702,778円
三条市	683,534円	700,035円	693,208円

三条市の一人当たりの老人医療費の推移



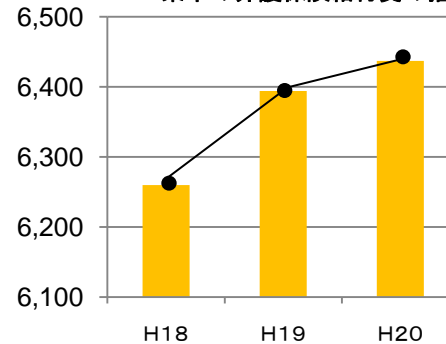
H18年度との比較で、
9, 674円増

【介護保険給付費の推移】

	平成18年度	平成19年度	平成20年度
全国	51,048億円	58,369億円	
新潟県 (千円)	123,977,295	143,093,026	
三条市 (千円)	6,259,680	6,393,832	6,437,110

単位: 千円

三条市の介護保険給付費の推移



H18年度との比較で、
177, 430千円増

★ポイント★

- 老人の医療費負担は、年度にばらつきあるもの高い水準で推移
- 三条市における介護保険給付費も平成18年度から平成20年度の3年間で1億7千743万円の増加。

このままでは、高齢化率の進行に伴い社会保障費も当然増加する！！

※高齢化社会の到来に伴い、社会保障費の抑制のためにも高齢者が健康でいられる施策を展開する必要がある。

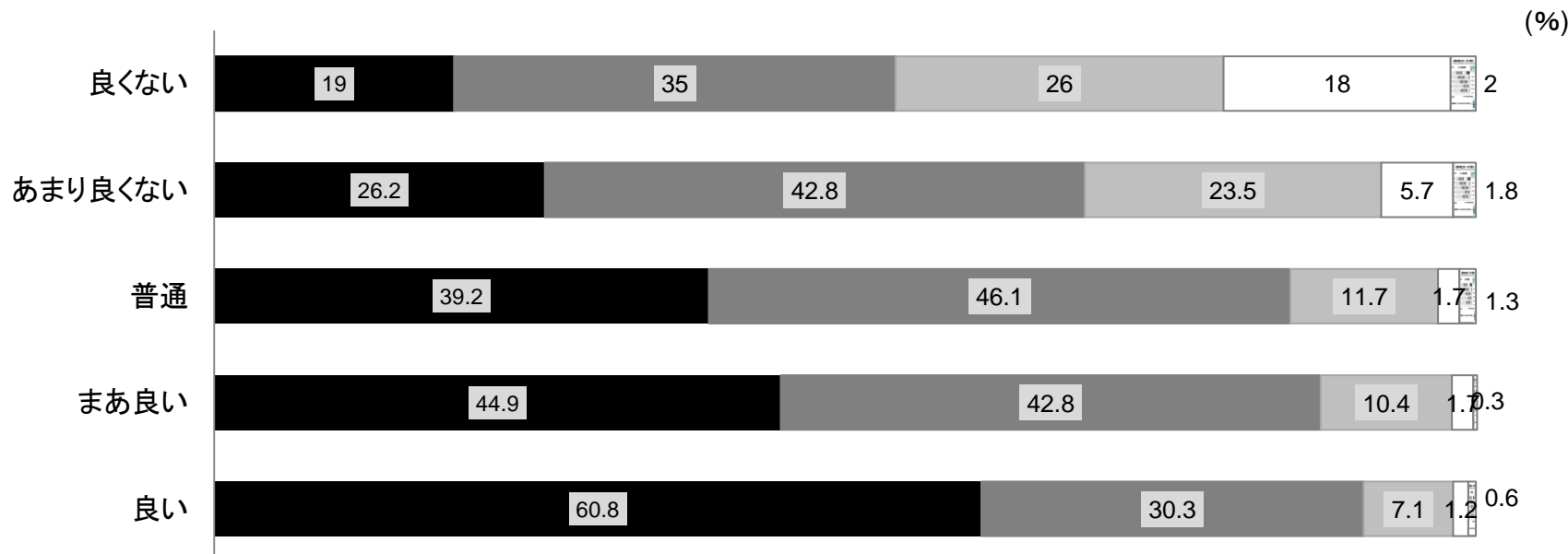
3 高齢者の健康と生きがい ～驚くべき関係性～

高齢者の健康と生きがいの関係

生きがいを感じているか

■ 十分感じている ■ 多少感じている ■ あまり感じていない □ まったく感じていない ▨ わからない

【健康状態】



H19内閣府 『高齢者の健康に関する意識調査』より

★ポイント★

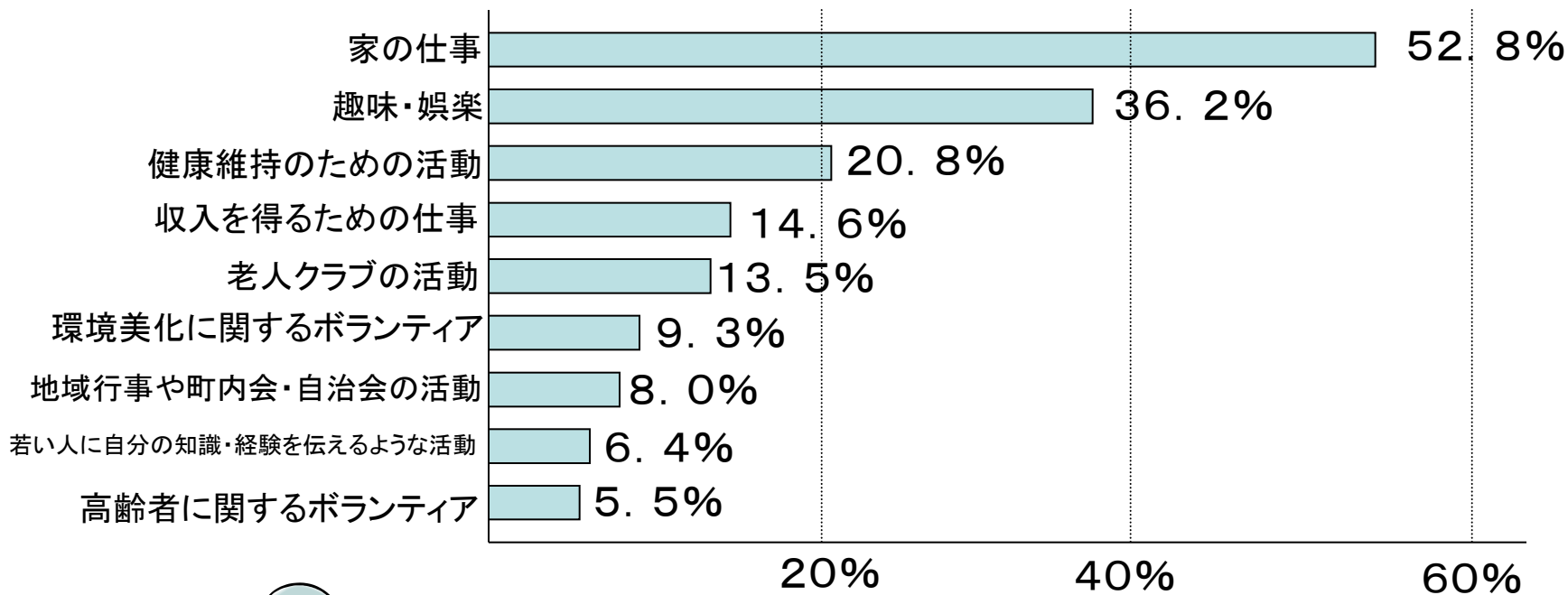
■ 健康状態について、良い人ほど生きがいを感じている割合が高い



生きがいと健康は密接な関係！

4 高齢者にとっての生きがいとは

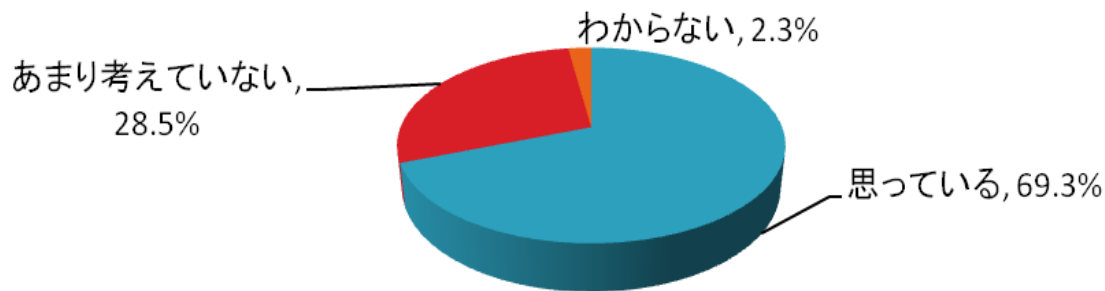
【今後行いたい活動】「現在行っている事も含めて、これからどのようなことをしたいと思いますか。」



高齢者基礎調査(新潟県・H19.7月)

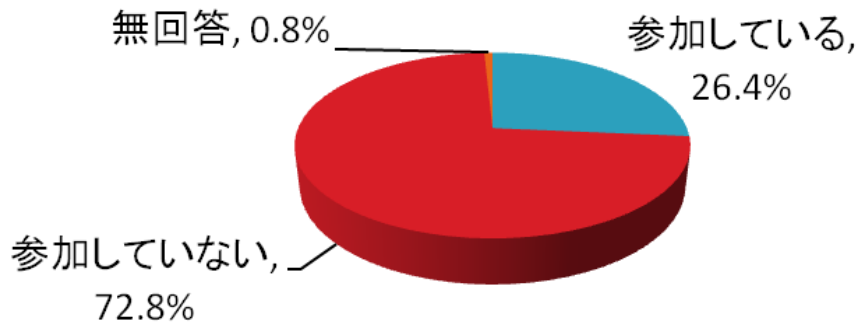
【社会への貢献意識】「日頃、社会の一員として、何か社会のために役立ちたいと思っていますか。」

社会意識に関する世論調査(内閣府・H21.1月)



社会の役に立ちたい
と考えている人は
69.3%も存在

【社会貢献活動実績】「あなたは社会貢献活動に参加していますか」



実際に社会貢献活動
に参加しているのは
26.4%

老後の生活に関する意識調査(内閣府・H18.6月)

★ポイント★

■ 高齢者がこれから行いたいことの上位は、家の仕事や趣味・スポーツであるが、ボランティア、自治会活動などの社会貢献活動にも関心はある。

■ 社会貢献意識は高いものの、実際の活動に結びついていない。

高齢者と生きがいを結びつける施策が必要

5 高齢者にとっての生きがい ～何が足りない？～

三条市における積極的な社会参加への支援

- 老人クラブへの支援(老人クラブ活動)
- シルバー人材センターへの支援(就労支援)
- 社会福祉協議会や地域の関係団体との連携強化(ボランティア活動)
- 教養を高める場と学習機会の提供(生涯学習の推進)

しかし…

■どこに行けば情報が？



参加しやすい仕組みづくり

■なかなか参加するきっかけがない。



きっかけづくり

★ポイント★

- 高齢者が住み慣れた地域でいきいきと元気に暮らしていくには、地域での支えあい、高齢者相互の助け合いが重要。社会参加の促進をすることで介護予防の推進を図る。
- 高齢者の生きがいに関する情報を得やすく活動しやすい仕組みづくりが求められる。
- また、社会活動に参加するはじめての一步を踏み出すきっかけとなるような制度(施策)も必要

6 施策提案～シニア介護支援ボランティアポイント制度の実施 |～

■目的

高齢者の介護支援ボランティア活動による地域貢献を積極的に奨励・支援する。

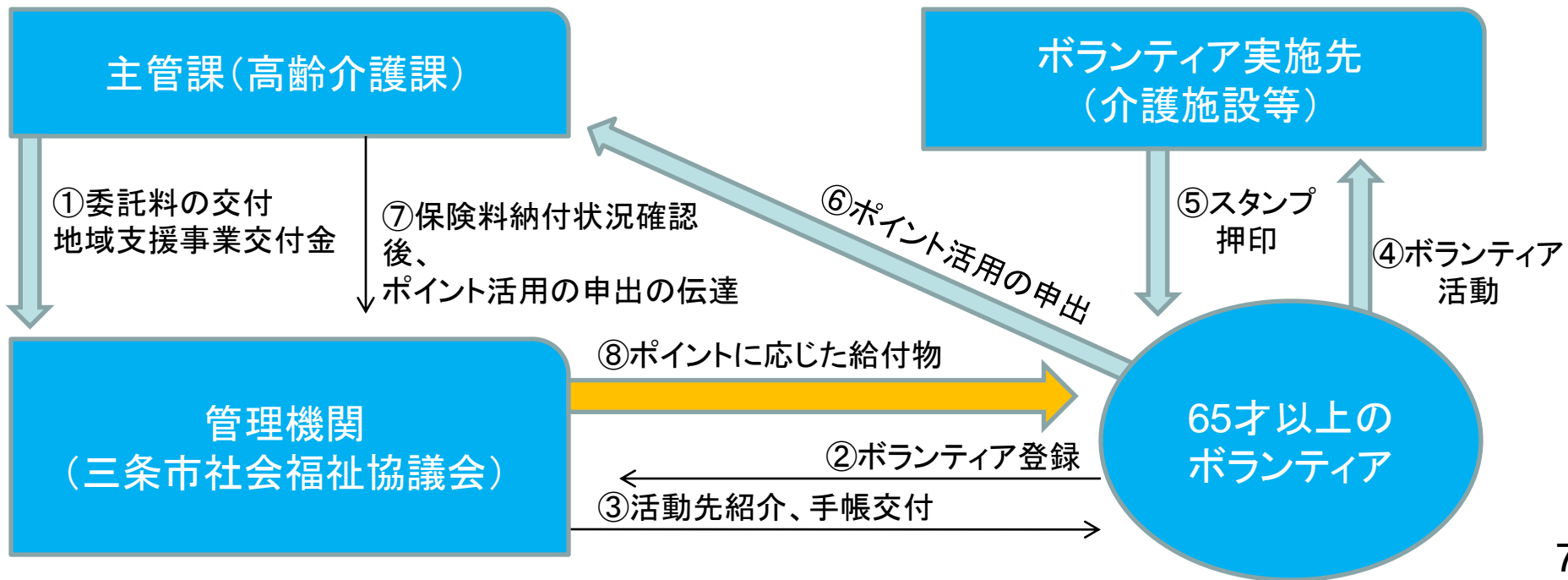
■事業内容

高齢者の介護支援ボランティア活動実績等を評価したうえでポイントを付与し、その高齢者の申し出により、ポイント数に応じた給付物を交付する

■効果

高齢者自身の社会参加活動を通じて介護予防を推進する。

地域支援事業費、介護給付費等の費用を直接的・間接的に抑制する。



6 施策提案～シニア介護支援ボランティアポイント制度の実施 II～

■対象者：介護保険料を滞納していない市内在住の65才以上の高齢者。ボランティア実施先まで自らの手段で移動できる方。

■事業主体：三条市 福祉保健部 高齢介護課

運営主体：管理機関（三条市社会福祉協議会を想定）

■事業費（委託料）：介護保険事業特別会計（地域支援事業交付金）

■年間委託料： 1, 560, 000円



《内訳》

消耗品費 50, 000円

役務費（振込手数料等） 100, 000円

転換交付金（1人5,000円相当×282人*） 1, 410, 000円

*高齢者ボランティアの登録数推計（三条市内65歳以上人口の1%と推計）28,216人（H20）×1.0%=282人

■主管課事務費： 50, 000円

消耗品費（施設用スタンプ・用紙・インク・ファイル等） 50, 000円

■負担割合：

負担者	区分	負担割合	予想負担額
国	地域支援事業交付金（国負担分）	40%	644, 000円
県	地域支援事業交付金（県負担分）	20%	322, 000円
介護保険被保険者	介護保険事業特別会計	20%	322, 000円
市	一般会計	20%	322, 000円
計		100%	1, 610, 000円

6 施策提案～シニア介護支援ボランティアポイント制度の実施 III～

■主な活動内容

1	デイサービス施設などでの食事補助(お茶だし、配膳、下膳など)
2	特別養護老人ホームなどでの散歩、外出、館内移動の補助
3	施設などで行われる行事などの手伝い(会場設営、芸能披露、模擬店など)
4	施設職員とともに行う軽微、補助的な活動(洗濯物の整理、草むしりなど)
5	レクリエーションなどの指導、参加支援(生け花、折り紙、書道の指導など)
6	話し相手



■ボランティア受け入れ団体:介護保険対象施設、市が委託、実施する地域支援事業

■ポイント還元:1時間につきスタンプ1個押印。2時間以上の活動の場合には、2回分の活動実績として評価。ポイントに応じ、相当額の給付物と交換(1,000p=1,000円、年間5,000ポイント上限)。給付物としては、①現金②農産物や温泉(いい湯らてい)利用補助券などを想定。

活動実績	付与する評価ポイント
10回から19回まで	1,000ポイント
20回から29回まで	2,000ポイント
30回から39回まで	3,000ポイント
40回から49回まで	4,000ポイント
50回以上	5,000ポイント

(交換例)



(現金と交換)
1,000円振込



(品物と交換)
農産物1,000円相当
温泉利用補助券
1,000円相当
など



7 他自治体介護支援ボランティア制度の事例

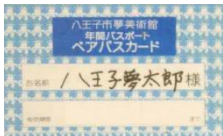
八王子市

高齢者ボランティアポイント制度

対象: 65歳以上の介護保険の要介護・要支援認定を受けていない方

活動: 老人ホーム、デイサービス、高齢者世帯などでのボランティア

ポイント評価: 1時間の活動でスタンプ1個。10個以上集めると金品と交換
(年最高50ポイント。5000円相当) 10ポイント単位で交付金
またはオリジナル商品「夢パック」交換



夢パック

- ・季節の野菜、乳製品詰め合わせ
- ・ボランティアポイントオリジナル切手
- ・宿泊施設宿泊券
- ・美術館年間パスポート



稲城市

介護支援ボランティア制度

対象: 介護保険を滞納していない65歳以上の第1号被保険者

活動: 市が指定する介護施設などの受け入れ先でのボランティア

ポイント評価: 提案のポイント還元と同様。現金のみの給付。

ボランティア登録数: 369人 (H21.11.30現在)

制度の1周年を記念して、「ボランティア制度クイズ検定」を実施

シニア世代の生きがいづくり班メンバー

○総務部

政策推進課

課長補佐

大竹直登

税務課

主任

藤田さおり

○福祉保健部

高齢介護課

主事

山屋雄輔

健康づくり課

技師

近藤舞

主事

岩瀬みなみ

○経済部

商工課

主事

長谷川祐二

○教育委員会

子育て支援課

係長

五十嵐康之